

かほだより

R7-13号
R7. 11. 27



長野県伊那家畜保健衛生所
TEL: 0265-72-2782,
Fax: 0265-72-2765
E-mail: inakachiku@pref.nagano.lg.jp
所在地: 伊那市西町5764
伊那諏訪家畜産物衛生指導協会
TEL&FAX: 0265-76-8086

寒さに負けない！子牛を守る冬の衛生管理

寒さ対策をしっかりと！

- ✓ カーフジャケットやネックウォーマーで保温
- ✓ 乾いた敷料をたくさん敷き、こまめに交換

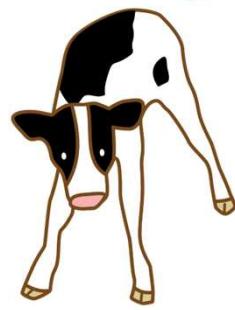
風邪予防のため換気も重要！

- ✓ 換気不足は呼吸器病の原因になります。
暖かい時間帯に換気をしましょう。

子牛には十分な栄養を！

- ✓ 初乳は乳用子牛で出生後4時間以内に2リットル、4~6時間後に2リットル→計4リットル給与が基本
- ✓ 初産牛や繁殖和牛では必要に応じて初乳製剤(代用初乳)などで補給
- ✓ 冬季は哺乳量を15%程アップし、離乳を1週間程延長(例. 2リットル×2回⇒2リットル×3回)
- ✓ 代用乳を溶かす温度は若干高めに！(夏場:約45°C⇒冬場:約50°C)
- ✓ 自然哺乳では、母牛の飼養管理(濃厚飼料の増給、飲水量)にも留意
- ✓ 人工乳は粉ミルクをふりかけたり、糖蜜を添加すると嗜好性アップ！
- ✓ 温湯の給与で飲水量アップ！(哺乳牛は哺乳後20分程度たってから)

子牛は寒さに弱い！
13°C以下でストレス
を感じます。



© 2020 Japan Dairy Council

母牛へのワクチン接種で冬の子牛を守ろう！

- ✓ 冬は子牛の下痢や呼吸器病が増える季節、予防の鍵は「母牛へのワクチン接種」！
- ✓ 分娩前にロタウイルス・コロナウイルス・大腸菌(K99)対応の下痢症予防ワクチンの接種で、初乳を通じて子牛に免疫を付与！
- ✓ IBRやBVD、RSウイルスを含む呼吸器病予防ワクチンも有効！

※計画的なワクチン接種で、健康な子牛と農場の収益を守りましょう。(➡ご相談は伊那家保へ)

耳寄り情報

BVDウイルスの持続感染を防止する最新のワクチンについて

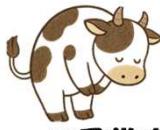
牛ウイルス性下痢(BVD)は、流産や免疫低下を引き起こし、持続感染牛(PI牛)が発生すると群全体に感染が広がり、重大な経済損失を招きます。今般発売された最新のBVDワクチン(ボベラ)は、妊娠牛にも安全に接種でき、胎子への影響を心配せず予防が可能。さらに、年1回の接種で長期免疫を確保し、PI牛の発生を防ぎます。(➡ご相談は伊那家保へ)

牛のヨーネ病研修会のご案内

牛のヨーネ病の発生状況、対策及び課題を明らかにし、県内でのまん延防止を図ることを目的に研修会が開催されます。Webでの参加ができますので、参加を希望される方は、12月4日(木)までに伊那家保までご連絡願います。

- 日時:令和7年12月11日(木)13:00~15:00
- 場所:長野八ヶ岳農協3階会議室(オンライン参加可)
- 内容:「牛のヨーネ病の県内の発生状況と体制について」(佐久家畜保健衛生所 川島大樹 氏)
「北海道における牛のヨーネ病発生状況と対策 その課題」
(北海道十勝家畜保健衛生所 宮根和弘 氏)

長野県では業務改善の一環として、試行的に窓口・電話受付時間を変更します！



受付時間 9:00~16:30 (従来8:30~17:15)

試行期間 令和7年11月25日(火)~令和8年3月31日(火)



※異常家畜の通報など緊急の場合は、休日や受付時間外であっても対応しますので、必ずご連絡ください。

ご不明な点・ご相談は伊那家畜保健衛生所 0265-72-2782までご連絡ください。